

枝物（ハナモモ）栽培の拡大による 県北中山間地域の振興

県北農林事務所 常陸大宮地域農業改良普及センター

JA茨城みどり枝物生産部会では、定年帰農者が中心となり中山間地域の耕作放棄地を活用して枝物を生産しています。枝物は中山間地域の農業振興に不可欠な品目として注目されており、部会の生産者数や栽培面積は年々増加しています（会員62名（前年比+5名）、枝物栽培面積25ha（前年比+5ha））。

産地の競争力を高めるため、普及センターでは関係機関と連携して、部会の主力品目のハナモモを高品質かつ安定的に栽培するために必要な技術を確立し、普及を図りました。

高品質ハナモモの安定生産技術の確立 に向けて

花芽が密についたボリュームのある枝で、開花がそろったハナモモが高品質とされます。

普及センターでは摘心による枝数増加（ボリューム感向上）や鮮度保持剤による開花促進技術、主要害虫ナシヒメシンクイの適期防除技術を確立しました。これらの技術は講習会や普及情報等を活用して周知し、生産者の栽培技術向上を図りました。



ハナモモの目揃えの様子



施設内で促成処理中のハナモモ

共同促成施設による産地の活性化

平成25年11月、常陸大宮市内にJAの共同促成施設が完成しました。施設はハナモモなどの促成枝物の出荷拡大のために整備されました。

普及センターは、専技や独法の研究員と連携して施設内の温湿度分布を調査し、ハナモモの促成に最適な環境への改善方法を示しました。

平成26年春には約7.3万束のハナモモが出荷されました。毎年度、総会時の出荷目標を達成し増産となっています（平成27年度の出荷目標8万束）。

栽培マニュアルを活用した新規生産者の 確保・育成

普及センターが定年帰農者を対象に開催している「農業入門講座」において、平成24年度からは枝物栽培も内容に組み入れ、枝物新規栽培者の確保を図っています。

平成25年度に初心者向けに栽培技術をまとめたハナモモ栽培マニュアルを作成しました。今後このマニュアルを活用し、さらなる新規生産者の確保・育成を推進します（平成25年度1.5ha増加）



農業入門講座での枝物先進農家ほ場見学